



10月上旬、3学年の「総合実践」では、日本郵便 経営企画部 サステナビリティ推進室の方を講師にお迎えして、「社会的課題解決に向けた郵便局の取組（ビジネス）」と題してお話をいただきました。今回の講義は、12月に生徒たちが日本郵政/日本郵便の方へプレゼンテーションを行うための全体説明会も含まれていました。この「高校生×日本郵政グループ」の取り組みは昨年度から始まり、生徒たちが2学年「総合実践」の授業のときは、「郵便局を活用して地域貢献」と題して、講義・グループ討議・発表をおこなっています。

3学年「総合実践」の授業では、探究のプロセス（課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）を身に付けて、社会の課題（SDGsの目標）の解決について実践しており、今回は日本郵政/日本郵便より社会的課題をいくつか提示していただき、生徒たちはその課題解決に向けたビジネスモデル、商品・サービス等の提案についてグループワークで考察をしていきます。発表までには講師をはじめ数名の方に2回来校していただき、進捗状況の確認やアドバイスをさせていただいたと予定しており、生徒たちは「総合実践」2年間の学習の総まとめとして取り組んでいきます。

